

事業報告

第 2 分科会		家庭教育(健康・食育)	
テーマ	「結」明るい未来のために、親も子も元気に過ごすための食育		
趣旨	子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変わってきています。これからの社会を元気に過ごすための「生きる力」を育む家庭教育の重要性を再認識したいものです。 生きていくうえで最も重要であり毎日欠かすことのできない「食」、欠食や学校での給食について考え、忙しい毎日の中でもできる「食育」について共に学びを深めていきましょう。		
会場	ホクト文化ホール(中ホール)	運営担当	上高井郡市P・飯水P
参加人数	222人	子ども参加者数	8人

担当副実行委員長	松田 愛絵	運営委員長	岩井 鉄矢
----------	-------	-------	-------

分科会総括

第2分科会の最初の研究発表である栃木市PTA連合会では、「学校・家庭・地域」と協働・連携したPTA活動の促進～とちぎ未来アシストネット事業との連携をとおして～と題して、子どもを核とする学校、家庭及び地域住民の連携・協働によって学校教育活動をサポートする事例を紹介いただきました。

次に、NPO法人 長野県食育協会 評議員 理事 田中 雅子氏に「親も子も学びたい「食」の知識」と題して講演をいただきました。特にご飯とお味噌汁が体に良く体の隠れた傷を直してくれるとのお話が印象的で、講演後の質疑応答でもお味噌汁についての質問が寄せられました。

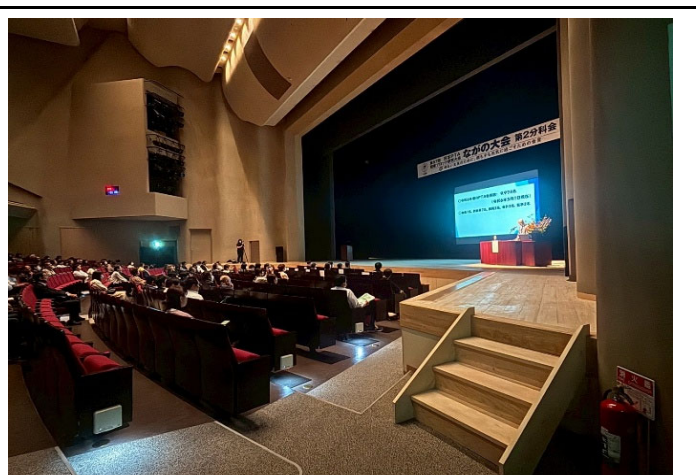
そして2番目の研究発表である須坂市立東中学校では「自作弁当の日の取り組みで学校全体の食育を推進」と題して生徒の3年間にわたる自作弁当の事例が紹介されました。各学年ごとの必ず入れなければいけないお弁当のルールなど、生徒にとってよく考えながらお弁当をつくらなければならない内容となっております。

最後にパネルディスカッションとして、講師の田中 雅子氏、須坂市立東中学校の発表をされた上高井郡市PTA連合会 会長 松峯 昌男氏、自作弁当の取り組みを企画された須坂市学校給食センター 栄養教諭 北山 智恵氏、小布施町立小布施中学校 家庭科教諭 中嶋 愛子氏、自作弁当を実践した須坂市立東中学校 生徒の佐藤 克彦さん、石橋 柚菜さんを交えて行われました。特に生徒のお二人にとっては、「お話ししたい事が言葉に出てこなかったらどうしよう。」との事で、自主的に作文を用意してくれていました。内容については「お弁当はその日にただ作るのではなく、前もってメニューを考え、前日までに買い物をする、いつもより早く起きて作らなければならない。」こんな大変なことを毎日両親が自分のために料理を用意してくれているとの感謝の言葉が述べられ、会場にはほっこりとした空気に包まれました。会場内には生徒が作った自作弁当ポスターを掲示し、来場者に見ていただきました。

田中雅子氏による講演会の写真



栃木市PTA連合会研究発表の写真



パネルディスカッションの写真



東中学校生徒とのパネルディスカッションの写真



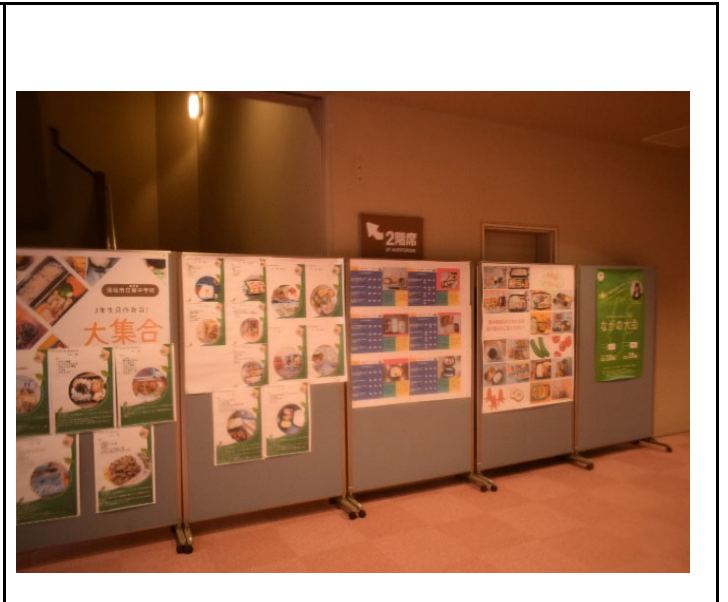
展示ブースの写真



パネルディスカッションの写真



東中学校のお弁当の日の写真



第2分科会役員の写真



